

つくし野中だより

発行

町田市立つくし野中学校

電話 042-795-0323

FAX 042-795-8765

第11号
令和8年
2月12日

○ ○ 君だけの「Vibe」！ ○ ○ 校長 河田 真一

立春を過ぎ、厳しい寒さの中にも、どこか春の気配を感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動を温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよミラノ・科尔ティナ2026冬季オリンピックがはじまりました。その大会スローガンを知っていますか？

【 IT's Your Vibe 】

(あなたの思いのままに)

「Vibe」とは、その場に流れる雰囲気や、内側から湧き上がるワクワクした高揚感を意味します。このスローガンには、「大会を愛するすべての人を主人公にし、新しいものを生み出していく」という願いが込められているそうです。



先日、卒業生の岩佐選手に来ていただき、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックにかける意気込み、生徒のみなさんに向けてのメッセージをもらいました。その時に岩佐選手がみんなに伝えたメッセージを覚えていますか？「幾度となく挫折を味わい、苦しさや困難にぶつかっても、それでも諦めずに努力を重ねてきた結果が、今回のオリンピック出場につながった」という話をされていました。

岩佐選手だけでなく、オリンピックという夢の舞台に立つ選手たちの姿を見ていると、ある一つの真理に気づかされます。それは、「夢を諦めずに努力を続けた者にだけ、チャンスの神様は微笑む」ということです。彼らが手にする切符は、決して偶然の産物ではありません。思うような結果が出ず、心が折れそうになった日もあったでしょう。しかし、それでも自分の「Vibe(情熱)」を信じ、地道な努力を積み重ねてきたからこそ、世界最高峰のオリンピックという舞台にたつ機会を掴み取ることができたのです。

みなさんにとっても同じことが言えます。勉強で、運動、習い事など、最初からすべてがうまくいくことは稀です。時には壁にぶつかり、自分には無理かもしれない弱気になることもあるかもしれません。しかし、そこで歩みを止めないでください。夢を諦めず、泥臭く努力を続けていれば、いつか必ず「やっていてよかった」と思える瞬間—夢を叶えるためのチャンスが巡ってきます。私たちは生徒のみなさんが自分の「Vibe」を大切にし、失敗を恐れずに挑戦し続けられるよう背中を押し続けていきます。

「自分らしく、思いのままに」。

それぞれの夢に向かって一歩ずつ歩んでいく子どもたちを、今後も学校と家庭で手を取り合い、成長を温かく応援していきましょう。

Tsukushino Junior High School Every Day

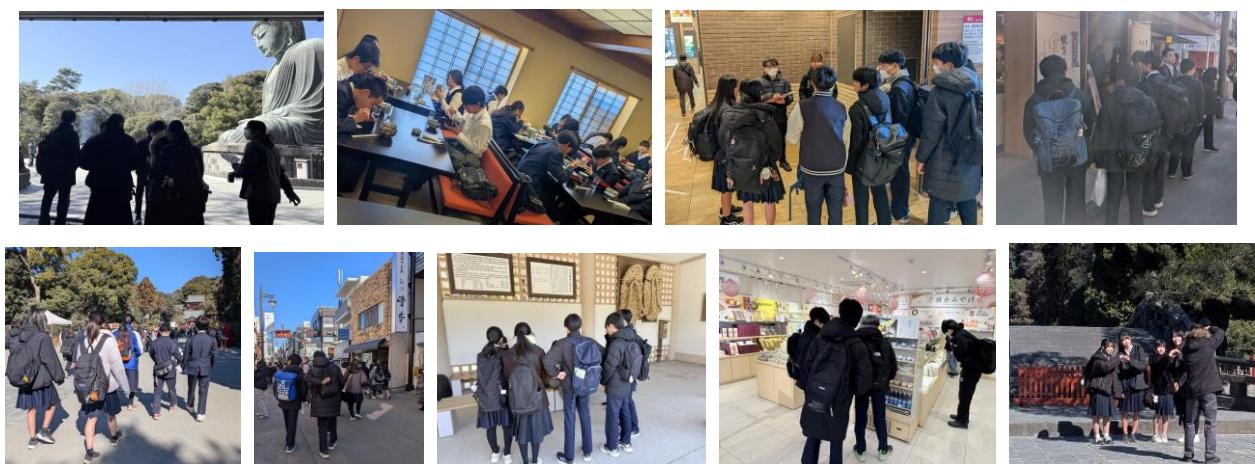
(1年生スキー教室)

1月22日(木)～24日(土)の三日間、1年生は女神湖付近にある池の平白樺高原ホテル白樺高原スキー場に、スキー移動教室に行ってきました。「しあわせのかね Let's take on the challenge」のスローガンのもと、参加した生徒は積極的に様々なことにチャレンジしました。体調不良者が出ていたり、失敗もありましたが、スキーの技術はもちろん、仲間との関係や集団生活における大切なことを身につけることができた素晴らしい三日間になったと思います。



(2年生 鎌倉校外学習)

2月3日(火)に2年生は鎌倉校外学習に行ってきました。インフルエンザの影響で学級閉鎖もあり、開催が不安視されましたが、感染拡大も防止でき、無事に開催できました。当日は朝から穏やかな天候で、心地よく一日を過ごすことができたのではないでしょうか?【なまくら 古都で育む 団結力】のスローガンのもと、班の仲間と自分たちで考えたルートを巡りました。時間通りに行かなかったこと等課題もありましたが、どの班も、楽しく過ごすことができました。今回の活動を次年度の修学旅行につなげてほしいと思います。



【I組スケート教室＆スポーツ交流会】

1月16日(金)にこどもの国へスケート教室に行ってきました。最初は戸惑う生徒もたくさんいましたが、毎年行っていることもあり、次第に上級生を中心にスイスイ滑る姿が見られました。続いて29日(木)は、成瀬体育館で町田市立中学校特別支援学級合同スポーツ交流会が行われました。多少ルールを変更したバスケットボールの試合を他校と行いました。練習の成果が出たのか、昨年度よりも試合結果が格段に良くなりました。普段の努力の成果が発揮された、とても充実した一日となりました。



【岩佐暖選手 オリンピック壮行会】

1月19日(月)、ミラノ・コルティナオリンピックに出場する岩佐選手の壮行会を行いました。岩佐選手のスケジュールの関係で16:30スタートとなり、希望者のみでの実施となりましたが、部活動の生徒を中心に200名ほどの生徒が体育館に集まりました。町田市役所職員や岩佐選手のご家族も来校されました。岩佐選手からは「あきらめずに努力することは夢の実現につながる」ことをご自身のエピソードに交えてお話しいただきました。岩佐選手に贈呈した「みんなでメッセージを書いた国旗」を中心に写真撮影を行い、最後は花道を作つて岩佐選手の健闘を願いました。



出場予定種目

レース予定日時

【男子5000Mリレー】

●予選

2/16 20:06～

●順位決定・決勝

2/21 5:18～

※共に日本時間です。



今後の主な予定

2月21日（土） 都立高校一次学力検査
25日（水）～27日（金） 学年末考査
3月 2日（月） 都立一次合格発表・卒業を祝う会（I組）
5日（木） 3年特別時間割
13日（金） 1・2年保護者会 午前授業始め
17日（火） 卒業式予行
18日（水） 卒業式準備 ※給食なし
19日（木） 卒業証書授与式

「我慢」と「けじめ」を育てる

今から40年以上前ですが、巷ではヤンキー漫画が流行し、テレビゲームですら高校の番長が主役のゲームが大人気でした。動物愛護の観点から社会問題にもなりましたが、猫に学生服を着せた「ナメ猫写真」というものも流行りました。

昨年度、某高校の授業を観に行く機会があったのですが、40年以上前には、漫画の世界のような荒れ方をしていました有名だった高校です。しかし、時代も流れ令和の今、そんな時代錯誤な生徒は全くいませんでした。それどころか、みんな熱心に授業を受け、

ノートを見るとみんなていねいな字を書いていました。授業を見学した後に高校の先生に良い意味で驚いた旨を伝えると、高校の先生はこう言いました。

「今でもいい加減な生徒が受験をくることは多々あります。しかし、入試の解答用紙に一切の温情はありません。つまり、読めない字は、迷わず切り捨てています。それにより、いい加減な生徒は自動的に不合格になります。ただし、倍率の関係で仮に入学してしまうこともあります、自分の名前すらいい加減に書く人は、何をさせても続きません。工科高校なので、ものつくりがメインなのですが、それらの生徒は、最後まで完成させずに諦めてしまい、あげくの果てに自分がいい加減な字を棚にあげ、「学校がつまらない」、「授業がつまらない」など周りのせいにして、夏休みまでに高校を辞めていくそうです。したがって、見学してもらったクラスは、勉強は苦手でも決していい加減な生徒ではないので、授業が落ち着いていたのです」と話してくれました。高校の先生いわく、高校は中学校に比べるとルールが緩く、例えばスマホを持参してもよいという高校が大半です。しかし、授業中に使うと没収されます。大切なのは、けじめです。中学校には、細かいルールが多くありますが、それらを守ることで「我慢」「けじめ」を身につけることができます。また提出物は最後の一文字までていねいな字を心がけている人は、多少勉強が苦手でも高校で成功し、その先の進路にみんなつなげているそうです。みなさんは高校で成功しそうですか？



（副校長 残間 喜満）